編集後記

やや歳を重ねたせいか，脳血管内治療の歩みを振り返ることが多くなりました．草創期には思いも寄らなかったような治療技術の進歩には隔世の感があります．滝和郎先生によって世界で初めて本邦で開発された電気離脱型バルーンは electrodetachable coil に進化し，いまや血管内治療のスタンダードになりました．同じく滝先生によって開発された EVAL（ethylene vinyl alcohol copolymer）は海を渡り，Onyx と名をかえて，いまや全世界で使われています．本邦では頚動脈血行再建の約 2/3 が CAS で行われるようになりましたが，当初は CAS がこのような発展を遂げるとは想像もいたしませんでした．まだ CAS が世に出る数年前に，脳血管内治療のパイオニアのおひとりが「CAS の究極は covered stent です」と仰り，当時，大変驚きました．まだそこには至りませんが，脆弱プラークのステント内突出を当時から予見しておられました．先人のご苦労や教えを次の世代に伝えていくのは私たち現役世代の責務と感じます．

JNET Vol. 7-2 をお届け致します．本号では脳血管内治療で用いられるデバイスについての基礎的研究論文の 2 編と臨床論文 6 編が掲載されています．これらの研究のひとつひとつが 10 年後，20 年後の脳血管内治療のより一層の発展に寄与していくものと確信致します．JNET は会員の皆様でつくりあげていただくものです．多くのご投稿をお願い申し上げますとともに，遠慮なく，ご意見，ご感想をお寄せ下さい．JNET が本治療の進歩に貢献するものであるよう，皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます．

平成 25 年 5 月

JNET 編集委員長　中原一郎

JNET　Vol.7 No.2 May 2013

2013 年 5 月 31 日発行　第 7 巻　第 2 号
編集・発行　特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会
〒 102-0074　東京都千代田区九段南 2 － 1 － 30
イタリア文化会館ビル 8 F
TEL：03-3239-7264　FAX：03-3239-7225
E-mail：jsnet-admin@umin.ac.jp
Web site：http://www.jsnet.umin.jp/
製　作　株式会社メディカ出版
〒 532-8588　大阪市淀川区宮原 3 － 4 － 30
ニッセイ新大阪ビル 16F
TEL：06-6398-5048　FAX：06-6398-5068/5071

本書の著作権は当学会が所有しておりますので、当学会の許諾を得ないで本書の内容を転載刊行することを禁じます。